

会議録

令和8年5月20日提出

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 令和7年度第10回定例会
開催日時	令和8年3月18日(水) 午後6時30分 から 午後9時15分 まで
開催場所	柳沢公民館 視聴覚室
出席者	委員：小須田厚子(会長)、松本静(副会長)、小池教之、渡邊耕造、下坂小百合、亀倉康悦、花房敦子、ギログリーン江美、鈴木明美、小林大介、坂内夏子、荒井容子 事務局：近藤館長、市川事業係長(柳沢)、根岸分館長(芝久保)、菅野分館長(谷戸)、一之瀬分館長(保谷駅前)、三城事業係主任
欠席者	澤井稔、小林資郷、山本分館長(田無)
議題	1 審議事項 (1) 令和7年度第8回定例会会議録(案)について(資料1) (2) 令和8年度西東京市公民館事業計画(案)について(資料2) 2 主催事業について (1) 令和7年度公民館主催事業報告について(資料3) (2) 令和8年度公民館主催事業計画について(資料4) (3) 令和7年度公民館「まちなか先生」実施状況について(資料5) 3 報告事項 (1) 行政報告 (2) 公民館だより編集室報告 (3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告 4 事務連絡及び情報交換 (1) 令和7年度第2回利用者懇談会報告(谷戸・ひばりが丘・保谷駅前・芝久保) (2) その他 ア 令和8年度公民館運営審議会定例会開催日(案)について(資料6) イ 令和7年度西東京市公民館事業評価について (3) 令和8年度第1回定例会の開催について
資料	【配布資料】 資料1 令和7年度第8回定例会会議録(案) 資料2 令和8年度西東京市公民館事業計画(案) 資料3 令和7年度公民館主催事業報告書 資料4 令和8年度公民館主催事業計画書 資料5 令和7年度公民館「まちなか先生」実施状況 資料6 令和8年度公民館運営審議会定例会開催日(案)
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
傍聴者	<input checked="" type="checkbox"/> あり(3名) <input type="checkbox"/> なし
会議内容	
<p>1 審議事項</p> <p>(1) 令和7年度第8回定例会会議録(案)について(資料1)</p> <p>●令和7年度第8回定例会会議録(案)について承認</p> <p>○事業係長</p> <p>令和7年度第9回定例会会議録(案)については、作成でき次第郵送する。各自内容を確認し1週間以内を目途に修正意見を事務局にお送りいただき、次回5月の定例会で承認をいただくこととする。</p> <p>(2) 令和8年度西東京市公民館事業計画(案)について(資料2)</p>	

○館長

前回ご意見をいただいた、中学生が企画する小学生向け防災講座（谷戸）については、昨年度で一旦区切りとし、来年度はこれまでの中高生にも関わってもらうなど、関係性は保ちながらも、より多世代に向けた防災講座を展開することとした。

○A委員

中高生が忙しいということも要因か。

○館長

要因の一つではある。中高生が対応可能な範囲の中で、谷戸まつりや新しい防災講座など、これからは公民館との関りも続けてもらえたらと思っている。

○B委員

令和8年度事業計画に夏休みこども学習室（谷戸）があり、そこでの高校生・大学生と小学生の関わりは継続するものとしてとらえている。

●令和8年度西東京市公民館事業計画（案）について承認

2 主催事業について

(1) 令和7年度公民館主催事業報告について（資料3）

○館長

前回、子育て中の女性のための講座「健康をみなおす～食をとおして健康になろう・日常生活が楽になるカラダ～」(田無)について、回答を保留していた質問2件について回答する。1点目、孫育ての8人の内訳については、70代3名、60代4名、残り1名は40代の小学生の子を持つ保護者だったので、7名に訂正させていただきたい。2点目、講師の身体技法研究者(甲野陽紀)との関わりについては、15年ほど前にひばりが丘公民館で行った講座の講師(甲野善紀)から、ご子息を紹介していただいたということだった。

○C委員

今回の公民館主催事業報告からいくつかピックアップして説明していただきたい。

○事業係長

【共催事業】防災講座2 八方ふさがり冷や汗避難体験(ひばりが丘)について、もう少し楽しい部分を増やした方がよかったのではとか、避難所設営であたふたする時間帯でスタッフが先に正解を言ってしまったとか、次回に向けた改善点もあったが、今回初めて学校の体育館で実施することができ、全体として無事成功に終わった。

○D委員

自助に関する講座が多い中、共助である避難所運営について実際にうまくいくのかという思いがあった。昨年と同講座を受け、今年は小学校の避難所運営協議会と連携するなど自ら企画に関わったが、地域の方々が楽しみながらも冷や汗をかき失敗体験を積むという大切な講座として成功したと思う。来年度以降も継続して実施したいと思っている。

○E委員

農業を知る講座～収穫の喜びと仲間づくり～(谷戸)に2年連続で参加している。夏の暑さがすごいので、来年度は外での作業を少し後ろ倒しにするなど工夫する予定。講師陣の知識も豊富で、環境のことや近郊農業のことも知ることができる大変充実した講座である。

○A委員

防災講座2(ひばりが丘)について演劇の団体が講師欄にあるがどうだったのか。

○D委員

避難所でのクレーマー役として演じていただいた。仕込みと分かる形で実施したが、演技が大変リアルで場が引き締まった。

○B委員

防災講座1 防災語り場ひだまり、防災講座2(ひばりが丘)の2つの防災講座は、どちらも参加者のニーズをうまく捉えた内容になっていることが報告書から読み取れる。事業名もとても面白く心揺さぶられるものになっていて評価したい。

○E委員

【共催事業】ちいさな展示会と講習会(芝久保)、子育て中の女性のための講座(保育付き) 来春

までに私と子どもと暮らしを整える～家族の未来予想図を描く～（ひばりが丘）、趣味講座「麻ひも×手織り」の魅力～輪織りを楽しもう（ひばりが丘）について、講座後にサークルが発足したり、サークル化に向けた職員のフォローがあるのが素晴らしいと感じた。

○B委員

ちいさな展示会と講習会（芝久保）やひばりロビーサロン（ひばりが丘）について、講座として実施することで参加者が集まり、公民館のサークルの皆さんが地域に繋がっていくような取り組みになっているのがよい。公民館から生まれる団体活動の地域循環として捉えてよいのではないか。子育て中の女性のための講座（ひばりが丘）について、子どもが急病など、受講者の状況に応じてオンライン受講に切り替えられるという先進的な講座だと思うが、学習支援保育という視点で子どもへの対応が取れないという課題も見え隠れしていると感じた。

○E委員

子どもを取り巻く環境について考える講座（保育付き）大人は子どもと出会えるか～子ども・若者にいろいろ聞いてみよう（柳沢）について、パネラーの中高生は衝立で顔が分からないようにして話をしたとあるが、初めに登壇するときはどうしたのか。

○事業係長

参加者が入る時間よりも前に衝立の向こう側にいてもらうようにした。本人たちはこちらが思っていたよりもフランクに楽しい感じで臨んでいて、ニックネームをそれぞれ名乗り、思い思いに自分の考えや経験を語ってくれたため、大変盛り上がった。

○F委員

防災講座2（ひばりが丘）について、1年生の感想の「人数が分かればご飯が食べられると知った」というのはどういうことか？

○事業係長

担当職員に聞いて次回回答させていただく。

○A委員

防災講座2（ひばりが丘）のチラシはどのような地域に配布したのか。

○D委員

年末、近隣エリアに避難所協議会のメンバーによって1,000部をポスティングした。最後、関係団体に依頼しようという段階で入院してしまい、少し残念な気持ちが残っている。

○A委員

農業を知る講座（谷戸）で、講師の市職員の説明がつまらなかった部分については、今後うまくフォローしてほしい。また、夏休み子どもと保護者体験講座親子で自分だけのカレンダーを作ってみよう（田無）のSDGs中高生のボランティアについて、中高生を単にボランティアとして使うという視点ではなく、事業の企画段階に参加してもらうなど公民館との関りを育むような内容になっていればいいと思う。

○館長

夏休み子どもと保護者体験講座（田無）では、活動の成果を市民の前で報告する機会を設けたり、本人たちも楽しそうに積極的に活動しているので、単に手伝っておしまいにならないように、今後も継続していきたい。

○B委員

みんなで踊ろう！やぎさわディスコ（柳沢）について、商店街と連携したとあるが、来年度もあるのか。また子どもを取り巻く環境について考える講座（柳沢）の保育について、短期講座で異年齢の子どもたちを預かるにあたって、通常とは違う配慮や工夫したことについて評価したい。

○事業係長

商店街の会長から、夏祭りでやぎさわディスコをやってもらえないかという依頼があり、公民館が仲介する形で実行委員会を紹介し、商店街との共催という形で実施した。公民館事業としての位置づけではないが、来年度も継続して実施されると思う。

(2) 令和8年度公民館主催事業計画について（資料4）

○事業係長

子育て中の外国人女性のための日本語講座（保育あり）（柳沢）について、女性に限定している経

緯と理由について説明する。市内で10ある日本語教室には曜日や時間帯にバリエーションがあり、男性は女性に比べて比較的自由に参加できるが、保育ありで実施している教室はこの柳沢公民館主催のものだけであり、子育て中の女性が来やすい講座ということを従来からの目的にしている。スタッフもすべて女性で、参加者の女性ならではの悩みなども気軽に相談することができるため、今後もこの方向で実施していきたい。

○B委員

ひばりロビーサロン（ひばりが丘）について、参加者だけでなく発表するサークルにとっても市民と接する機会であり、地域について考えるきっかけになると思う。

○A委員

子どもと保護者対象講座ころころ玉ねぎ～野菜の収穫と五感アートを体験～（芝久保）について、内容的に多世代交流の視点で、子どもと祖父母が参加すると世代を超えて面白いのではないかと感じた。次に、思春期の子どもに向き合うための講座不登校共に考え共に歩む（ひばりが丘）について、講師の講演を聞くだけでなく当事者同士、また地域の人たちとのつながりができるような講座になることを期待したい。

○事業係長

思春期の子どもに向き合うための講座（ひばりが丘）の補完として、講座の最終回では不登校の支援団体の代表者たちが参加する西東京市不登校情報ネットワーク「ハートライン♡にしとうきょう」に声をかけ、数人が当事者の話を聞きながら相談に乗るという時間を設ける予定。また、スクールカウンセラーにも参加依頼をしている。

○C委員

不登校情報ネットワークハートライン♡にしとうきょうの事務局として、さらに元当事者として当日は話をさせていただく予定。重い空気を持って参加した方が、少しでもほっとした気持ちで帰っていただければと思っている。

○B委員

学校-家庭-地域をつなぐ連絡システム「すぐーる」での配信は予定しているか。

○事業係長

すぐーるは、当事者の方に直接届く方法としてとても有効であることが前回分かった。

○館長

定員16人だと受け入れ人数として少ないかもしれない。定員を増やせるか確認した上で、すぐーるの配信を検討する。

○D委員

PTAと連携して学校でやるのもありなのではないか。

(3)令和7年度公民館「まちなか先生」実施状況について（資料5）

●事務局より令和7年度の実施結果について報告

○J委員

平和講座に参加したが、グループワークでの子どもの姿を見ると、市内の戦争のことについてとても関心があることが分かった。また、田無駅北口にある「平和のリング」について認識があまりないことが分かったので、設置の理由や意味について知ってもらうような取り組みが大事だと思った。

○B委員

子どもにとっては1コマの授業だが、せっかく出向いた公民館を少しでも覚えてもらうために、楽しいパンフレットなど、何か当日手渡せるようなものがあつたらいいのではと思う。

○A委員

以前に公民館だよりでも取り上げていた、子どもの人権についてのすごろくを活用した授業があつても面白いと思うので、次期に向けて検討してほしい。

○G委員

平和講座は、戦争についてどのような説明の仕方と工夫をしているのか。例えば戦前から戦中にかけて現在の都立武蔵野中央公園周辺に中島飛行機武蔵製作所があり、ゼロ戦など軍用飛行機のエンジンを生産していたことから、空襲を受け多くの戦災を受けた歴史があるが、公民館「まちなか先生」として、未来の子どもたちに平和な世界を継承していくために、戦争の悲惨さと、平和の大切さをど

う説明しているのか。

○分館長（芝久保）

講師の渡部國夫先生は、武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会に所属しており、膨大な資料に基づいて、事実として詳細にかつ分かりやすく説明をしている。もう一人の講師の古内綾子先生は、中島飛行機武蔵製作所で少年工として働いた父の体験や厳しい労働環境で働かされる多くの少年工、その空襲被害について具体的に語ってくださっている。

○C委員

講師のお二人が、実施する小学校のエリアに合わせたお話をしてくださるため、子どもたちはより自分ごととして受け止めやすい構成になっていると思う。今も戦争がある、という感想も多くあり何かしら伝わったものがあるという感覚がある。

○H委員

先日、平和講座を見る機会があり、実施に当たって多くの大人のスタッフたちが関わっていることが分かり驚いた。今後もぜひ続けていただきたい。また、同じ内容で大人向けに公民館で講座として実施したら、子どもと共有できたりもするのでよいのではないか。

○分館長（芝久保）

平和を考える講座（芝久保）に合わせて、渡部講師の資料をパネル展示したところ、多くの人がご覧になっていた。

○B委員

平和講座を支えるスタッフは、公民館講座から発足したサークルのメンバーたちである。

○I委員

私も平和講座のサポートメンバーとして参加したが、グループワークで子どもの意見を引き出すのに苦労したが、皆さん本当に上手に熱心に取り組んでいる。

3 報告事項

(1) 行政報告

○公民館長

令和8年度予算特別委員会で、保谷駅前公民館や図書館の空調機器更新について、スケジュール等について質問があった。ステア管理組合が発注者となり公民館は区分所有分を負担する形。新年度に入って契約手続きをするためスケジュールは未定だが、工期は約1か月、全館休館はせず部屋ごとに入れ替え作業を行う予定であると回答した。

(2) 公民館だより編集室報告

●担当委員から1月8日開催の公民館だより編集室会議について報告

- ・公民館専門員と知り合う機会にもなっていてとても有意義な時間になっている。

(3) 東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会報告

●担当委員から3月12日開催の東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会について報告

- ・小金井市が来年度1年間、都公連を欠席して有料化に関する事務等に専念することのこと。
- ・2月の都公連研究大会について感想を述べあい、内容が濃かったためもう少し討論に時間を割く工夫があればよかったのではという意見が上がった。
- ・狛江市の公民館事業評価についての説明。

4 事務連絡及び情報交換

(1) 令和7年度第2回利用者懇談会報告（谷戸・ひばりが丘・保谷駅前・芝久保）

●出席した委員からそれぞれ感想と報告をいただいた。

(2) その他

ア 令和8年度公民館運営審議会定例会開催日（案）について（資料6）

●案のとおりの日程で実施することに決定

イ 令和7年度西東京市公民館事業評価について

○事業係長

前回に引き続き事業評価表について、ご意見を伺いたい。

○A委員

これまで職員の一次評価はどのような形でやっているのか。

○事業係長

事業計画個票の裏面にあるデータ（評価に必要な項目の一覧）を集計した資料を見ながら、分館長が話し合っ

○B委員

事業計画の3つの方針に照らし合わせて評価するのがいいと思うが、学級・講座以外（施設運営、窓口業務、広報など）の部分も公民館要素として大きいので、それをどう評価するか、方針を当てはめるのか、別個で評価していくか悩むところ。また、事業については毎回の定例会で議論を尽くしている

○E委員

事業計画の1ページ目にある5項目について3つの方針の視点で評価していくのはどうか。

○G委員

①評価の切り口、②評価のプロセス、③評価方法、④評価の見せ方について考えたい。①は例えば事業計画の目標や方針などの切り口でもいいし、ハード面は各館で新たな切り口を打ち出してもいいと思う。大いに議論すべき。②は、各事業を都度その切り口で計画し評価していけば年間の評価はそれを集計すればいいだけなので、プロセスは大切。③評価者はだれで、公運審としての評価はどのような態度

○A委員

事業計画の個票上で、3つの方針のどれに当てはまるかだけでなく、その理由や企画者の意図がもっと見えてくると評価しやすくなるのではない

○館長

いただいたご意見によって、ある程度イメージが湧いてきた。5月の定例会で案として形にしたものを示したい。

(3) 令和8年度第1回定例会の開催について

日時：令和8年5月20日（水）午後6時30分

場所：柳沢公民館